

【第三次提案 - 2】 災害公営住宅について

協議会の提案内容

【災害公営住宅の全般について】

- 提案① 多様な生活スタイルに合わせたムダの無い住宅整備を行う。
- ▶ 入居申し込み前に住民希望調査を行い需要と供給を合わせる
(希望エリア※閑上地区内、階数※集合タイプの場合、希望間取り など)
 - ▶ 間取りタイプ毎に複数プランを設ける
(和室/洋室、仕切り自由プラン、収納充実プラン、介護プラン など)

提案② プライバシーを尊重しつつ見守りしやすいよう配慮する。

提案③ 緊急通報が受信できる機器を一定区間毎に標準装備する。

- 提案④ 住民同士のコミュニケーションが活発になり、かつ利便性の高い施設を整備する。
- ▶ 地域住民が集まる集会所・サロン等、共益施設の整備・充実

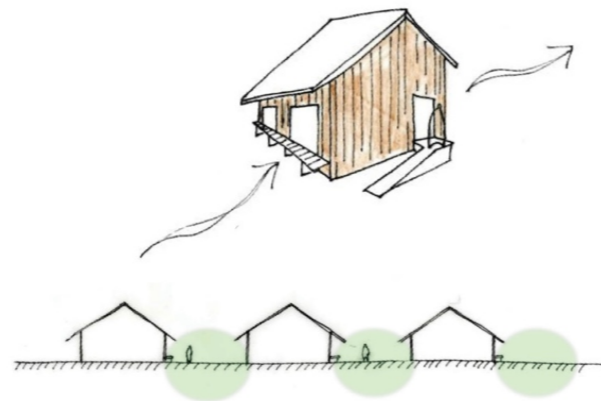


提案⑤ 高齢者でも車イスでも出入りしやすいよう、部屋の入口は可能な限り引き戸にする。

【戸建住宅について】

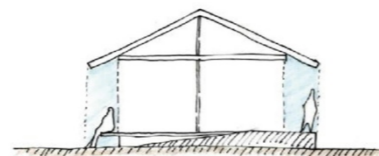
提案① 閑上の気候風土を取り入れた風通しの良い間取りを採用する。

提案② 日射しや風通しの遮蔽を防ぐ為、敷地にゆとりを持たせる。



提案③ ひさしを長くし、軒下空間にゆとりを持たせる。

- ▶ 自己の敷地感覚が広がると共に、物置の設置や雨風の軽減に役立つ



【集合住宅について】

提案① 集合住宅の屋上は、緊急時の避難施設となるように整備する。

提案② 見守りのため廊下に面する間口を広く取る。

提案③ グループ入居が可能になる運用の構築。

提案④ 希望が多い場合、ペット飼育が可能な専用住棟プランを準備する。

提案⑤ 将来の入居者ニーズに対応できるよう工夫する。(例.「2戸1工事」可能な設計など)

提案⑥ 安心の担保として、単身世帯を周りから見守りが出来るしくみを整備する。

提案⑦ 東側に立地する5~6階建て集合住宅のメリット確保。

- ▶ 1階を非居住階とし、2階から上(T.P. 8m以上)を居住階とする
- ▶ 集会所・サロンを住棟の1階に構え、非居住階を有効活用する
- ▶ 物置・駐車場・駐輪スペースを多めに確保する
- ▶ 雨に濡れずに車に乗れる車寄せを1階に確保する
- ▶ 商業エリアから離れている事への対応で、移動販売所を実現する
- ▶ 高層集合住宅の優位性である住棟からの眺望を最良に確保する
- ▶ 近隣基地の眺望を十分に配慮した整備を行う
- ▶ 北側の集合住宅は、名取川堤防への直接アクセスを可能にする
- ▶ 河川防災ステーションとの関わりを強化し、安全・安心を担保する



【街並について】

提案① 区域中央の災害公営住宅における、戸建・集合の一体的整備。

- ▶ 第一次提案に基づく、戸建・集合の一体的コミュニティの形成
- ▶ 中央緑道に面した出入口を構え、よりコミュニティ良化を図る



提案② 同じ建物が並び単調な街並みにならない工夫を施す。

- ▶ 玄関の向きやスロープの位置に変化を加える
- ▶ 外壁・屋根を複数種準備し、お隣同士で重複しない配慮をする